



2018年3月1日

「Asia Pacific Maritime 2018」日本パビリオンブース 及び

「船用工業セミナー」に参加

ボルカノ株式会社（以下 ボルカノ）は、2018年3月14日（水）～16日（金）シンガポールにて開催される展示会「Asia Pacific Maritime 2018」において、日本パビリオンブースに出展参加（カタログ出展）します。

また、（一社）日本船用工業会 開催の「船用工業セミナー」に参加し、ボルカノは、「LNG燃料対応などのボルカノ環境対応技術」と題したプレゼンテーションを実施します。

Asia Pacific Maritime 2018 <http://www.apmaritime.com/>

日程 2018年3月14日（水）～16日（金）
開催場所 シンガポール マリーナベイサンズ
サンズ エキスポアンドコンベンションセンター
Sands Expo and Convention Centre

日本パビリオン概要

1. 出品者面積：264㎡（ブース番号 B-M02）
2. 出品者数：12社

ボルカノは、カタログスタンド展示

Japan Ship Machinery & Equipment Seminar

— Energy saving・Environment・After-sales service—

<http://www.jsmea.or.jp/en/seminar/2018/singapore/>

日時： 2018年3月14日（水） 13:00～18:00

ボルカノによるプレゼンテーションは
15:45（約15分間）を予定

開催場所 シンガポール マリーナベイサンズ
サンズ エキスポアンドコンベンションセンター
1階 ホールC 「マリタイムフォーラム」

※英語表記は

MARINA BAY SANDS, SANDS EXPO & CONVENTION CENTER,
LEVEL1 HALL C MARITIME FORUM (RED DECK)

住所 10 Bayfront Avenue, Singapore 018956



※写真は、
LNG燃料船向けBOG処理装置
「MECS-GCU
(メックス ジーシーユー)」

問合せ先：燃焼機事業部 営業部 (TEL06-6392-5541)

Info-m@volcano.co.jp 担当 名定（なさだ）

ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38



Press Information

シンガポール及びアジアの経済発展により重要性が増す船舶及び海運の分野において、船用機器が環境に与える負荷を軽減していきたいとボルカノは考えており、「きれいな海を守る」、「青い空を守る」ため、「船用工業セミナー」Japan Ship Machinery & Equipment Seminar では、船舶へのLNG（液化天然ガス）燃料導入対応（製品例：LNG燃料船向けBOG処理装置「MECS-GCU（メックス ジーシーユー）」、廃油・ビルジの濃縮における完全クローズドシステム（廃油まじりの水・ビルジの海洋への排出ゼロ）などボルカノが培ってきている環境負荷軽減技術を提案します。

ボルカノは、サービス代理店3社によるメンテナンス対応、日本の得意先様各社を通じた部品販売によるアフターサービス、日本やシンガポールの協力先様各社を通じての新造船向けの製品PRをすすめており、シンガポールとの関わりがあります。海外各地での展示会やセミナーへの参加、英文WEBサイトを通じてのメンテナンス情報の提供など世界に向けた発信を続けています。

シンガポールはじめアジアの造船／船用工業関係者、海運業界のみなさまのセミナーのご聴講と、展示会 日本パビリオンブースへのご来場をお待ちしております。

出席登録 URLリンク（英語ページ）：<http://www.jsmea.or.jp/en/seminar/2018/singapore/>

ボルカノ株式会社 ホームページ： 日本語版 <http://www.volcano.co.jp/>

英語版 <http://www.volcano.co.jp/english/>

以上

<参考>

ボルカノ株式会社：1928年（昭和3年）、創業者/初代社長、故・沖原辨治が国産初の低圧空気噴霧式重油バーナの開発に成功し、“大阪重油炉製作所（当社の前身）”を興して以来、バーナ燃焼技術とその関連エンジニアリングをコアとして広く産業界に貢献してきました。

例えば、船舶分野でのLNG燃料活用においては、LNG運搬船向けのボイラ用バーナを36年以上にわたり供給し、ガスと燃料油を混焼させる技術を積み重ねてきており、ボルカノ製バーナを搭載したLNG運搬船、LNG燃料船はすでに180隻超を数えています。

新燃料：船舶からの排出ガス中の大気汚染物質（NOx、SOx及びPM）を削減するための規制が世界各地で強化されており、2020年には世界全域で船舶燃料油の硫黄分濃度規制の強化が開始されます。

この規制に対応するため、硫黄分の少ない燃料油や天然ガスなど、さまざまな新燃料の普及が予想されています。

問合せ先：燃焼機事業部 営業部（TEL06-6392-5541）

Info-m@volcano.co.jp 担当 名定（なさだ）

ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38



Press Information

船舶へのLNG（液化天然ガス）燃料導入：石油に代わる燃料として、また、厳しさが増す排出ガス規制への対応として、活用の期待が高まる天然ガス。LNG運搬船においては運搬中のLNGタンクから発生する気化ガスが燃料として活用されてきました。しかし、LNG運搬船以外の船舶でのLNG燃料の導入はまだ限られており、日本国内では、2015年9月1日 日本郵船株式会社様より発表の“日本初のLNG燃料船「魁」”1隻のみの運航（2018年1月1日現在）となっています。今後、日本や海外各国でのLNG燃料供給のインフラ整備などにより、LNG燃料船導入拡大が期待されています。

問合せ先：燃焼機事業部 営業部 （TEL06-6392-5541）
Info-m@volcano.co.jp 担当 名定（なさだ）
ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38